

地域の人と歴史に出会う河北小の「総合学習」 ― 中外(上国)鉱山を訪ねて出会いと学びを深める ―

9月4日、河北小5・6年生が中外(上国)鉱山学習に出かけました。

JR江差線廃止に伴い、校下の中須田、桂岡、宮越の三駅も歴史を閉じます。そこで学校をあげて総合の時間に江差線の歴史を調べることにしたのです。すると、鉱石輸送に江差線が使われていたことが浮かび上がってきたのです。

中外鉱山はすでに閉鎖され、今は坑道から流れ出る地下水の浄化処理が続けられているのですが、鉱山勤務の経験のある永田教育委員さんに仲介していただき、浄化処理場・金谷健代所長さんを訪ね、当時の鉱山の様子などを取材することになりました。

タイムトンネルをくぐる

当日、河北小5・6年生13人が担任の中田先生、安里先生と現地へ。金谷所長さんと中田さん、鈴木さん、吉川さんに迎えられました。所長さんは8ページもの資料に加えマンガや鉛



金谷所長さんと子どもたち

坑内に52度の温水が噴き出し、苦しき労働の末にパイプで外に出し、

亜鉛などの原石を用意。桜色のマンガン、鉛と亜鉛と銀のしま模様の原石などを前に子どもたちの目の色が変わります。また、示された鉱山の大きな断面図には30層間隔で山を横切る坑道が十数本、平面図には地下でクモの巣状に八方に延びる坑道が書き込まれています。所長さんは、「1日平均1層しか掘り進めない。発破で石が100層以上も飛ぶことを計算して爆破した。坑道内は真っ暗。迷わないように坑道ごとに位置番号を決め、誰がどこで働くか細かく決めていた」鉱石を運び出すトロツコは傾斜1/50度で設計した。

仕事の大切さを心に刻む

子どもたちもすっかりと質問し、答えを聞き逃すまいとメモ。ついに昭和18年の開山から鉱石は石崎港から船で、昭和26年以降は上ノ国駅から江差線で岐阜へと運ばれたことをつきとめます。鉱山は、採算が取れなくなつたために昭和61年に43年の歴史に幕。今は坑道からの水処理事業だけが行われていることもつきとめます。子どもたちは2時間間に及ぶ学習を通し、訪ねる人もない山間で続けられる環境保全に欠くことのできない仕事の大切さをも心に刻むのでした。最後に、格子戸のはめられた坑口や水処理施設を案内していただき学習を終えました。

図書だより

図書新着ごあんない

- | | |
|----------------|-----------|
| * 爪と目 (芥川賞受賞作) | 藤 野 可 織／著 |
| * 無垢の領域 | 桜 木 紫 乃／著 |
| * 世界地図の下書き | 朝 井 リョウ／著 |
| * たぶんねこ | 畠 中 恵／著 |
| * 千両かんばん | 山 本 一 力／著 |
| * ファミレス | 重 松 清／著 |

えほんのひろば

10月30日(水) 午後3時～4時

場所: ジョイ・じょぐら

※「大型絵本」「エブロンシアター」など。
子どもから大人まで参加自由です。

『本と旅する 本を旅する』
— 10/27～11/9は
「読書週間」です —



時 間: (火～土) 午前9時30分～午後5時15分
(日・祝祭日) 午後0時30分～午後5時15分
休館日: 毎週月曜日、年末年始
場 所: 上ノ国町民図書室(ジョイ・じょぐら内)

感受性育てる 芸術鑑賞行われる

9月9日(月)、上ノ国中学校で「中・高芸術鑑賞事業」として、劇団「影法師」による人形劇見八犬伝が行われました。

芸術鑑賞事業は、毎年実施され多様な芸術文化に触れることで、生徒の感性を育てることを目的に行われ、中・高生240名余りが鑑賞しました。

5枚のバックパネルが、舞台の情景に合わせて見事に入れ替わり、見ごたえのある人形劇で、生徒からは「人形の動きがすごく面白かった。人形の表情がよかった」などの感想が寄せられました。

